

## 平成26年度(第22回)職業訓練教材コンクールの総評

### 職業訓練教材コンクール審査委員長

#### 1. はじめに

平成26年度(第22回)職業訓練教材コンクールは、「公共職業訓練又は認定職業訓練等において訓練を担当する職業訓練指導員が開発した教材のうち、その使用により訓練の実施効果が上がり、創意工夫にあふれ、広く関係者に普及するに足る優れたものを選定し、その成果をたたえることによって職業訓練指導員の技術水準の向上を図り、もって職業訓練の推進とその向上に資すること」を目的として、厚生労働省、中央職業能力開発協会、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構の共催により行われました。

#### 2. 応募の状況

今回の応募作品数は90点で、その内訳は、都道府県立職業能力開発施設6点、民間5点、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構立施設79点となり、前回(平成24年度)と比較して16点の増加となりました。職業能力開発の充実に向けた関係職員の積極的な活動を反映したものと思われます。

分野別では、機械加工・製図関係分野24点、電気・電子・情報関係分野34点、建築・木工・デザイン関係分野9点、産業機械・メカトロ関係分野2点、障害者関係分野15点、その他の分野6点となり、主要なものづくり分野を中心に幅広い分野で応募がありました。

#### 3. 総評

応募作品は概ね実際の訓練において活用されているものですが、どの作品も教える側、教わる側それぞれの視点から大変工夫されていることが伺えました。

その中でも今回特選に入選された作品「業務用エアコンの据付と省エネ対策実習装置とテキスト」は、安全性、コストパフォーマンス、省スペース化、機能性等にとっても優れており、実習を実施する上で大変評価できる教材でした。

また、同じく特選に入選された「精神障害者を対象とした簿記・会計、労働法・給与計算テキスト」は、テキスト・課題・解答・参考資料が体系的に整理されており、訓練受講者個々の理解度に応じた使い方ができる等、訓練の実施に非常に有効な教材セットであると、こちらも大変評価できるものでした。

以上の2作品が甲乙つけがたく、特に優れていると評価されたため、本年度は厚生労働大臣賞(特選)が2作品となりました。中央職業能力開発協会会長賞に関しては、都道府県立職業能力開発施設、民間からの応募が比較的少なか

ったため、受賞作品数も例年と比較して少ない結果となりました。今回入賞された教材、また惜しくも入賞を逃した教材の中にも大変評価できるものが数多くあり、全体的に教材としての完成度の高さが伺えました。

一方、応募作品の中には、訓練教材の完成品だけを応募されたものがありましたが、作品そのものが持つ完成度は評価できるとしても、訓練の対象となる技能・技術要素、指導・利用方法が不明確であり、教材としては未完成と言わざるを得ませんでした。訓練受講者に提示する訓練課題の目的、作業手順、ポイント等を記載した資料との組み合わせがあると良かったのではないかと思います。

なお、応募作品の一部に著作権や商標の確認が必要と思われる表現・図表等を利用している訓練教材が見受けられましたので、下記の「参考」をご覧ください。ただければ幸いです。

今回の教材コンクールから、教材を応募いただきました方に、審査時のコメントをお知らせすることとしておりますので、今後の教材の作成、改良等にご活用いただければと思います。

次回の教材コンクールにおきましても、多くの方々、特に今年度応募の少なかった都道府県立職業能力開発施設、民間からも作品を応募していただくことを期待いたします。

#### ※参考

- [調査研究報告書 138号](#)  
[「教育訓練現場における知的財産権に関する調査研究－教材作成時に注意すべき著作権を中心として－」](#)
- [資料シリーズ 16号](#)  
[「教育訓練現場における知的財産権 Q & A－著作権を中心として－（小冊子）」](#)

(職業能力開発ステーションサポートシステム (TETRAS) からダウンロードしてください。)

<http://www.tetras.uitec.jeed.or.jp/>